

(附) 失業救済事業ニ使用スル日傭労働者登録状況

失業救済事業ハ大都市及宜、隣接地ニ居住スル労働者ニシテ
 失業ニ眞ニ生活困難ナル者ヲ救済スルノ目的ヲ以テ施行スルモノナルニ依リ
 本事業ヲ施行スル各都市ニ於テハ各職業紹介所ヲシテ予メ失業救済事
 業就職希望者ヲ登録サシメ以テ労働者ノ範囲ヲ制限シ一方各季地方
 労働者ノ都市集中ヲ防止スルコト、ナセリ其ノ概況ハ左表ノ通りニシ
 テ累年増加ノ傾向ヲ示シ就中朝鮮人労働者ノ激増ハ注目ニ値スルモノナリ

自大正十五年
 至昭和三年度 失業救済事業使用労働者登録概況

| 年度別 | 内地人 | 朝鮮人 | 合計 | 朝鮮人割合 | 一日平均 使用人員 | 登録超過数 |
|-------|---------|---------|---------|-------|--------------|---------|
| 大正十四年 | 三、三六六 | 二、九二〇 | 二、四八六 | 一、二% | 六、八二六 | 一、七、四六〇 |
| 大正十五年 | 三、七四一 | 八、二三〇 | 二、九、九七一 | 二七 | 六、一九四 | 二、三、七七七 |
| 昭和二年 | 一、六、八七九 | 八、四五二 | 二、五、三三一 | 三三 | 五、七四四 | 一、九、五八七 |
| 昭和三年 | 一、五、七一一 | 一、八、六七五 | 三、四、三八八 | 五四 | 五、八七五 | 二、九、五一三 |

獨逸ニ於ケル公註文ノ適正ナル分配ニ就テ

事業調節委員會

例 言

本調査資料ハ左記文献ニ依リ記述セルモノデアル。

- 一、經濟ニ對スル官廳註文ノ適正ナル分配ニ關スル「バルトルツシユ」提案ノ審議ヲ目的トスル獨逸國臨時經濟評議員會ノ經濟政策委員會ノ勞働委員會ノ意見書（一九二八年四月十九日附）
- 二、一九二九年六月二十八日附獨逸國勞働大臣及獨逸國經濟大臣共同命令書及一九二九年七月二十日附獨逸國職業紹介及失業保險局長命令書
- 三、景氣對策手段トシテノ公註文ノ計畫的分配
一九二八年七月十二日「ゾチアーレ・ブラクシス」掲載獨逸失業防止協會業務擔當者ドクトル・エ
ルンスト・ベルンハルト論
- 四、公註文ニ依ル景氣並ニ季節變動調節
一九二九年九月五日「ライヒスアルバイツプラット」掲載內閣參事官「ドクトル・ウエルネル・シユ
テファン」論

昭和五年三月

獨逸ニ於ケル公註文ノ適正ナル分配ニ就テ

獨逸ニ於ル公註文 (öffentliche Anträge) ノ適正ナル分配ニ就テ獨逸最近數ケ年ニ於ル勞働市場ノ推移ヲ觀察スレバ勞働市場ガ景氣並季節變動ノ影響ニドレ位惱マサレタト云フ事ガ氷解サレル。故ニ何人ト雖モ斯クノ如キ經濟變動ヲ除去シ、又ハ少クトモ緩和スル方策ヲ考究スル必要ガアルト考ヘルノハ當然デアアル。最近數ケ年間ニ於ケル識者ノ經驗ニ依レバ、一九二七年七月十六日附獨逸職業紹介及失業保險法ノ規定シタ失業防止並終熄ヲ目的トスル職業紹介及其他ノ措置 (特ニ失業者ノ再教育並生産的失業者救濟) ハ勞働市場ニ及ボス景氣並季節變動ヲ緩和スルニ十分ナルモノデハナイノデアアル。然ラバ景氣並季節變動調節方法トシテ有效ナリト認メラレキル處ノモノハ何デアアルカ。ソレハ所謂信用政策ト、公註文政策トデアアル。獨逸失業防止協會業務擔當者「ドクトル・ユルンスト・ベンルハルト」氏ニ依レバ「信用政策ハ景氣ノ繁榮ガ最高度ニ到達シタ時、恐慌ノ發生防止ニ特ニ有效デアアルガ然シ財界ガ恐慌突發ノ後沈滞期ニ這入ツタ場合ニ、經濟生活ヲ復活シ、同時ニ財界人ノ悲觀氣分ヲ除去スルニハ、適當ノ時期ニ公註文ノ計畫的授與ヲ開始スル以外ニ方法ハナイ」ノデアアル。

獨逸ニ於ケル公註文ノ概略ヲ次ニ説明スレバ、主タル公註文者ハ獨逸國官省、特ニ國大藏省、國防省、國交通省、國有鐵道會社、遞信省、各邦行政官廳、州行政官廳、市町村及市町村組合等デアツテ

此等ノ公註文者ヨリ一年間ニ授與サレル公註文總高ハ、職業紹介及失業保險局長ニ對スル獨逸國勞働大臣及獨逸國經濟大臣ノ共同命令書ニ依レバ、毎年約七十億乃至八十億「ライヒスマルク」デアツテ、獨逸國經濟ノ全註文高ノ五「パーセント」乃至十「パーセント」ヲ構成シテキルノデアアル。而シテ此ノ公註文ノ授與ヲ受クル産業ハ殆ド獨逸産業全體ニ及ブ状態デアツテ、特ニ土木建築事業、土石工業（天然石加工業及陶器並硝子製造業）金屬工業、機械工業及電氣技術工業ノ如キ産業ハ巨額ノ公註文ヲ與ヘラレテキルノデアアル。

敘上ノ如キ巨額ノ公註文ヲ授與スル公共團體ハ此ノ公註文ヲ、事實時間的關係ニ於テ分配シ得ル限リ、景氣並季節變動ヲ調節スル上ニ於テ極メテ重要ナル地位ヲ與ヘラレテキルノデアアルガ、然シ公註文ヲ時間的ニ分配スル事ガ頗ル困難デアリ又不利益デアル場合ガアリ得ル。内閣參事官「ドクトル・ウエルネル・シュテファン」氏ハ公註文ノ此ノ時間的分配ヲ困難ナラシメテキル場合ニ就テ次ノ如キ説明ヲシテキル。

急速ニ授與ヲ爲ス必要アル註文、即チ朽廢セントスル建物ノ修繕、諸物資ノ緊急の調達ノ必要等ハ景氣並季節變動調節ノ措置カラ當然除外サルベキモノデアアル。公共團體ノ財政ノ現状カラ見レバ最早繰延ノ餘地ノ無イ場合ガ多イ。同様ニ公共團體ニヨリテ經營サレル經濟的企業、例ヘバ交通施設ノ如キ註文ハ通常時間的拘束ヲ受ケルコトガ著シイノデアアル。此ノ種ノ企業ニ在ツテハ好況期ニ際シテ緊

急的ニ企業上ノ需要ヲ充タス必要ガアリ、隨ツテ註文ノ授與モ急速ヲ要シ、又註文量モ激増スル傾向ニアルノデアアルガ、不況期ニ際シテハ事態ハ全ク逆轉スル。故ニ此ノ種ノ企業ニ在ツテハ、企業上ノ收入及企業上ノ各種ノ需要ガ景氣變動ノ如何ニ依ツテ増減スルガ爲メニ公註文ノ適正ナル分配ハ極メテ困難トナルノデアアル。

次ニ建築土木事業ニ於ケル屋外作業ヲ季節的ニ調節シ得ルヤ否ヤ、即チ此ノ種ノ公共的事業ヲ冬季ニ繰上、繰延施行ヲ爲ス事可能ナリヤ否ヤノ問題ヲ説明センニ、獨逸ニ於テハ冬季ニ於ケル建築土木事業ハソノ氣候的關係ヨリ見テ其ノ施行ハ極メテ困難デアアル。然シ乍ラ少クトモ建築並ニ土木建造物ノ修繕作業ノ大部分ト建築物ニ於ケル屋内作業トハソノ方法ノ如何ニ依ツテハ冬季ニ於テモ實施シ得ル事ハ確實デアアル。又建築土木工事ノ冬季施行ニ依リ、此ノ種ノ産業ニ於テ時間的ニ比較的均等ナル經濟活動ガ與ヘラレ、此レニ依ツテ大ナル經濟的利益ヲ期待スル事ガ可能デアラバ冬季ニ於ケル寒冷豫防措置ニ相當經費ノ増加ヲ必要トスル事ハ極メテ些細ナル問題ト謂ハネバナラナイ。兎ニ角建築土木工事ノ冬季施行ノ可否ニ就テハ從來ノ經驗ノ蒐集ト適當ナル實驗的方法ノ試ミニ依ツテ十分研究調査ヲ遂ゲネバナラナイ。

既ニ開始シタ工事ヲ中止シテ繰延施行スル事モ亦困難ナ問題デアアル。少クトモ此ノ中止ニ依ツテ工事再開迄維持費ヲ支出セネバナラヌト云フ不利益ヲ發生スルト同時ニ若シ中止サレタ工事ガ、收益ヲ

得ル事ノ出來ル施設デアル場合ニハ、國民經濟上ソレダケ利益ヲ得ル機會ヲ喪失シタ譯デアル。

四

公註文ヲ經濟活動ノ原動力トスル産業、例ヘバ車輛製作工業、軍服羅紗地製造工業ノ如キモノ、又ハ公註文ヲ主トシ、私註文ヲ從トスル産業ハ、公註文ノ註文ノ時間的分配ニ依ツテ如何ナル影響ヲ受ケルデアラウカ、是ハ研究スベキ問題デアル。一般經濟界ノ景氣ガ順調デアル事ヲ理由トシテ此ノ種ノ公註文ヲ繰延施行セントスルナラバ、其レハ唯此ノ種ノ産業ノ經濟活動ヲ一時休止スルダケデアル。故ニ公註文ヲ對象トシテ經濟活動ヲ爲ス處ノ産業ニ對シテハ、景氣變動調節ノ方法ヲ試ミル代リニ一年間ヲ通ジテ出來得ル限り均等ニ經濟活動ヲ與ヘ得ルヤウニ、公註文ヲ適正ニ分配スル事ガ必要デアル。

公註文ガ時間的關係ニ於テ自由ニソノ變更施行ヲ爲シ得ルモノト考ヘラレル場合デモ、事實上繰上又ハ繰延ノ可能、不可能ヲ決定スル事ハ施行時期ニ所要資金ノ調達ガ可能ナリヤ否ヤノ問題ニ係ルモノデアル。特ニ例ヘバ次ノ會計年度ニ屬スル公註文ノ繰上施行ハ、之ニ必要ナル資金ノ準備ヲ必要トスルノガ通例デアリ、又他方公註文ノ將來ヘノ繰延ノ場合ニハ施行ノ時期到來ニ際シテ所要資金ノ準備ガ最早不可能トナル危険ヲ伴フ事ガ有リ得ル。「ウエルネル・シュテファン」氏ノ以上ノ説明ハ公註文ノ時間的分配ノ困難ナル場合ヲ指摘シタモノデアアルケレドモ、然シコノ事實上ノ障礙ヲ考慮シテモ尙ホ且公註文ノ經濟的ニ價值アル分配ヲ目標トスル努力ニハ極メテ大ナル意義ヲ認メネバナラスノデ

アル。獨逸國臨時經濟評議員會ハ、斯クノ如キ主旨ノ下ニ於テ委員「バルトルッシュ」氏ノ提出シタル一九二七年七月十五日附提案ヲ其ノ經濟政策委員會ノ會議ニ於テ論議シ、一九二七年七月二十六日次ノ如ク全員一致ヲ以テ決議シタノデアアル。

『臨時經濟評議員會ノ經濟政策委員會ハ、國有鐵道會社、國遞信省及其ノ他總テノ註文授與官廳並各邦政府ト聯絡ヲ保チ、以テ國民經濟ノ立場ヨリ經濟ニ對スル官廳ノ註文ヲ適正ナラシメ得ベキ方法ヲ考究スル事ヲ獨逸國政府ニ要求スル。特ニ公註文ニ依ツテ活動スル獨逸經濟各部門ノ状態ヲ安定セシムル爲メ一時ニ多量ノ註文ヲ授與スル事ヲ避ケネバナラス』

臨時經濟評議員會ノ經濟政策委員會ハ右ノ一般の決議ヲ以テシテハ公註文ノ分配問題ヲ解決スルニハ尙ホ不十分デアルトシテ「バルトルッシュ」提案審議ノ爲メ勞働委員會ヲ設置シテ討論ヲ繼續シタノデアアル。此ノ勞働委員會ハ主タル註文官廳、事業官廳、關係經濟團體並若干ノ専門家ノ意見ヲ聴取シ、斯クシテ得タル廣汎ナル資料ヲ基トシ、審議ノ結果左ノ如キ意見書ヲ作成シタノデアアル。

『公註文ハソノ性質上可能ナル限り、私經濟ノ註文ニ對スル調節方法トシテ不況期ニ之ヲ分配スル事ヲ要スル。而シテ之ガ準備トシテ數ヶ年ニ亘ル事業計畫及土木建築計畫ヲ立案スル事ガ必要デアル。公註文ノ不況期ヘノ分配ガ不可能ナル場合ニハ公註文ヲ出來得ル限り均等ニ分配スル事ニ努力セネバナラス。此ノ場合季節的變動ノ顯著ナル産業ニ對シテハ、季節的ニ不振ナル時期ニ公註文ヲ授與スベ

五

キ事ニ留意スル事ヲ要スル。」

勞働委員會ハ右意見書ニ基キ左ノ事項ヲ獨逸國政府ニ勸告スル事ヲ提案シタ。

一、獨逸國官廳ガ其ノ授與スル凡テノ比較的大口ノ部類ニ屬スル註文ニ付供給ノ種類及數量、價格、供給產業、供給時期並最重要ナル供給條件ヲ獨逸國經濟省又ハソノ推定官廳ニ報告スル事ヲ命令スルコト。尙ホ各邦國有鐵道會社及國遞信省ニ對シテモ右ト同様ノ報告ヲ爲サシムル事ヲ命令スルコト。

二、獨逸國經濟省又ハ獨逸國勞働省參加ノ下ニ國、各邦、國有鐵道會社、獨逸國遞信省及獨逸諸都市代表會議ノ註文機關ト關係經濟團體ノ代表ト協議ヲ爲サシメ、經濟的ニ適正ナル公註文ノ分配ヲ準備スル事ニ努力セシムルコト。

三、主要地方公共團體ニ於テモ亦、都市當局、國ノ各種ノ行政官廳及邦行政官廳（邦内閣總理大臣、邦財務當局、州學務當局、邦土地開拓局等）並國有鐵道當局及上級遞信當局間ニ於テ勞働省ト經濟界ノ代表者トノ參加ノ下ニ前項ト同様ナル協議ヲ規則的ニ行ハシムル事ニ努力ヲ爲スコト。

四、經費ノ使用時期ノ變更ノ規定ヲ擴張シ且次年度豫算ニ於テ決定セラレタル經費ノ繰上使用ヲ認メ、之ニ依ツテ註文ノ經濟的ニ適正ナル分配ヲ促進シ得ルヤ否ヤ且此ノ目的ヲ達成スル爲メ會計法上ノ規定ノ其他ノ改正ガ必要ナリヤ、又實施シ得ルヤ否ヤヲ調査スルコト。

五、技術上不利益ナクシテ冬季ニ於テ實施シ得ベキ建築作業ヲ此ノ季節ニ於テモ施行スル事ヲ國、各邦、市町村ノ官廳ニ要求スルコト。

六、公註文ニ對シ資金ヲ貸付ケ、之ニ依ツテ各種產業部門ノ均等ナル活動ヲ期待シ得ルヤ否ヤヲ調査スルコト。

七、國、各邦及市町村、獨逸國有鐵道會社及國遞信省等ノ如キ註文官廳ヲシテ出來得ル限り供給期間ヲ延長セシメ、之ニ依ツテ產業ニ對スル公註文ノ施行ヲ產業ガ私註文ヲ受クル事少キ時期迄繼續セシムルコトヲ此等官廳ニ指示スルコト。

勞働委員會ガ試ミタル右提案ニ對シテハ經濟政策委員會ハ一九二八年四月二十三日其ノ會議ニ於テ全員一致ノ同意ヲ與フル事ヲ決議シタノデアアル。

右ニ説明シタ獨逸國臨時經濟評議員會ノ經濟政策委員會ノ決議ノ要求ハ事實果シシ貫徹サレタデアラウカ。右決議ノ中一、二、三、五ノ四項ハ或ハ實施サレ、或ハ近キ將來ニ實施サレントスルモノデアアル。左ニ概説ヲ試ミル。

第一項ニ就テ註文官廳（獨逸國遞信省及國有鐵道會社ヲ含ム）ハ二萬「ライヒスマルク」ノ價格ヲ超ユル凡テノ註文ヲ特別調査票ニ記載シ、一九二九年一月一日カラ之ヲ毎月獨逸國統計局ニ申告シテキル。同年四月一日カラ各邦モ亦此ノ統計ノ申告ニ參加シテキル。尙ホ國及各邦ノ官廳ハ、右ノ如キ

毎月ノ申告ノ外ニ最近數ケ年間ニハ、會計年度開始ニ際シソノ豫算ニ於テ決定サレタル公註文ニ關スル計畫書ヲ規則的ニ國經濟省ニ提出シテキル。此ノ申告ニ依ツテ公註文ヲ調査スレバ或年度ニ於ケル國及各邦ノ公註文ノ概觀ヲ察知スル事ハ可能デアアル。

第二項ニ就テ第一項ニ説明シタル註文統計ガ完成シタ曉ニハ此等ノ資料ニ基キ、關係中央官廳及職業紹介及失業保險局長ヲ以テ構成スル處ノ内閣委員會ニ於テ、經濟界ノ景氣並季節的變動ノ主旨ニ基キ公註文ノ分配ヲ促進スベキ緊要ナル措置ガ決定サレル筈デアアル。

第三項ニ就テ一九二九年六月二十八日附獨逸國勞働大臣及獨逸國經濟大臣共同命令書ヲ以テ職業紹介及失業保險局長ニ對シ次ノ事項ニ就テ通牒ガ發セラレ、之ニ基イテ職業紹介及失業保險局長ヨリ邦勞働局長ニ對シ右通牒ノ趣旨ガ發セラレテキル。即チ邦勞働局長ハ、次年度ニ於テ邦勞働局管轄區デ實施サレル註文官廳ノ公企業及公註文ノ計畫ニ就キ此等ノ註文官廳ヨリ報告ヲ受ケ、同時ニ是等註文官廳ニ勞働市場ノ狀況ヲ報告シ相協力シテ經濟活動ノ沈滯期ニ此ノ公註文ヲ分配スルヤウ大イニ努メネバテラナイノデアアル。

第五項ニ就テ第三項説明ニアル國勞働大臣及國經濟大臣ノ共同命令書及職業紹介及失業保險局長ノ通牒ハ、邦勞働局ニ對シ、季節的變動調節ノ爲メ冬期ニ於テ土木建築事業ノ一部ヲ特ニ新建築物ノ屋內作業ト建造物ノ修繕作業トヲ實施スル事ニ協力スベキ事ヲ命令シテ居ル。(完)